

自治会法人 若松自治会

地域の話題

自治会紹介シリーズ

『自治会法人 若松自治会』

若松自治会は若松1丁目から2丁目の一部と文京、相模大野の一部に広がる地域であり、住宅密集地からは少し外れていて、一部雑木林が残り、市街化調整区域も多くあります。全世帯が若松小学校校区で世帯数は160世帯です。

夏日の陽気の中、会長2年目の太田明会長にお話を伺いました。

昭和59年に若松自治会が発足し、現在の自治会館は平成13年に取得しました。会館はこじんまりとした平屋建てで、三味線、カラオケ、絵画など地域の皆さんのサークル活動にも利用していただいています。

当自治会も子どもが少なく、高齢化が進み、共働きも多いため毎年役員の選出は大変です。

ちなみに、今年小学校を卒業した子供は4名でした。そんな状況なので、公民館の行事には、ほとんど参加できていないとの事で



▲三味線サークルの皆さん

すが、年末のしめ飾りづくりには多くの人が参加しているそうです。

行事としては、若松小学校の隣の「子ども広場」で、「どんと焼き」を若沼、若松れんげ、小沼の各自治会と合同で行っており、参加者も多く豚汁やお汁粉等もでて盛況です。4自治会とは「合同防災訓練」も行っています。

その他、「集団資源回収」を行い、業者に回収してもらっています。この収入は自治会として大変助かっています。



▲無病息災を願って

また、雑木林の「清掃活動」を月1回行っています。以前は、雑木林への不法投棄が多く、人が入れなかったようですが、今は細い林道もでき、綺麗な林になっています。

当面の課題をお聞きしたところ、「ゴミ置き場の改善と会館の修理だそうですが、会長のお言葉の端々からは「自治会を守る」という使命が重くのしかかっているような気がしました。

取材には、お二人の副会長も同席され、皆さん気さくで明るく、大変気持ちの良い取材となりました。

(次回は「若松れんげ自治会」の予定です)